

ザンビアにおける地理的背景・文化・生活 - 聴覚障害児の実態を中心に -

2006年1月7日

青年海外協力隊 現職参加

2つの事件：「人生にリスクはつきもの」

中央アフリカ・ザンビア

地理：首都、高原、サバナ、世界三大瀑布（ビクトリア滝）、カリバダム

人口：1030万人（2002年）

言語：主にニャンジャ語、ベンバ語 *公用語：イギリス英語

資源：銅・鉛・コバルト・亜鉛

貨幣：クワチャ 1US\$ 3300クワチャ

現地訓練（一ヶ月間）：無線、携帯 一時退避勧告

病気：マラリア、ジンマシン、アメーバ赤痢、

猫に噛まれる？ 右太腿に化膿？ 急性胃炎？

国立ろう教育センター

場所：コッパーベルト州/カルルシ/セント・ジョゼフ教区

創設：ノルウェー大使館（1996 - 1998）・教育省（1999 - 2004）

職員：センター長1名・手話教育2名・聴能訓練1名・技術援助（協力隊員）

機器：オージオメーター・補聴器・パソコン・ビデオ・自動車

セント・ジョゼフロウ学校

創設：ルハンガ氏（1972年3月27日）

公費助成学校：政府75%、教会5%

教育費：約100US\$

学年：幼稚部、グレード1/2/3/4/5/6/7、グレード8n/8r/9、グレード10/11/12

教員数：22名+協力隊員

児童生徒数：女子59名/男子75名 全体数134名

聴覚障害の原因：先天性53%、髄膜炎41%、耳下腺炎6%

補聴器装用児：なし

すべて手話で教育が施されている：アメリカ手話とザンビア手話が混ざっている

児童生徒・教員各々に手話名が付けられている

パソコン（G8-12）と数学（G8n/8r）を教える

- * 聴覚障害児学校及び学校在籍児童生徒数：G1-7/9820名（2003年）
- * 経済的な理由により未就学の子供が多いといわれているが、どのくらいかは不明。
- * 他に首都ルサカやソルウェジ、リビングストーン、チョマなどの地域に聴覚障害児のためのクラスがあるが、12学年までのクラスを持つ学校はセント・ジョゼフロウ学校とルサカのムナリ聴覚障害児学級の2つのみである。
- * ザンビア聴覚障害者協会
- * ZAMISE（ザンビア特殊教育研究所）、UNZA（ザンビア大学：障害児教育学部）
- * 南アフリカのケープタウンに聴覚障害者のための南アフリカろう短期大学がある。



01 Kitwe



02 open-pit in Chingola



03 Kalulushi



04 Kalumbwa



05 NRCEHI



06 STJSD



07 Mr.Ngoma's family



08 deaf teachers



09 NRCEHI



10 Head masters



11 farewell party



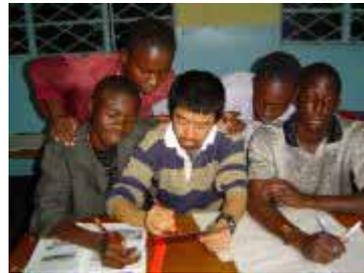
12 morning greeting



13 grade 12



14 sport day in Chingola



15 pupils



16 entertainment



17 independence day



18 aids day



19 graduation ceremony 2003



20 pupils



21 eating



22 tv room



23 deaf association



24 ZAMISE